

教科名		【教科：社会（公民的分野）】	教科書調査報告（教科書調査委員会）
発行者名		東京書籍	教育出版
調査の観点			
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に「チェック」があり基礎・基本の定着を図ることができる。 各章ごとに「探究のステップ」「学習をふり返ろう」で、基礎的・基本的な知識や技能の定着状況を確認できるようになっている。 内容がいろいろな視点や角度から記述されており、かつ、理解しやすい記述となっている。 「スキルアップ」により、基礎的・基本的な技能を身に付けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法における権利や自由についての内容や項目は、多様な立場の人の権利や自由にも配慮して充実している。 現代的な課題や世界的な課題についての視点での内容記述や資料も豊富である。民主主義に基づく身近な政治として、地方自治の役割が重視され、内容や課題も多岐にわたって記述されている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなでチャレンジ」のコーナーが設定されており、対話的な活動に活用できる。 「見方・考え方」のコーナーでは課題解決のために様々な角度や視点から考察できるようなテーマが設定されている。また、自分の考察を深めるための探究課題が設定されていて、思考力や判断力、表現力を養うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コラム欄の「言葉で伝え合おう」で、裁判員裁判・起業・まちづくりなど多面的・多角的な視点をもった現代社会の課題を取り上げ、討論や発表の活動などが適切に提示されている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 資料が見やすく適切な量でバランスもよい。 「公民にアクセス」では、現代社会の課題について適切に提示され、図表や地図などの資料も思考を深める効果的なものが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの内容や項目が、適切に配置されている。 コラム欄の「公民の技」では、現代社会の課題について適切に提示している。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各章の最初の探究課題の設定に持続可能な社会やESDをの視点を取り入れている。 巻頭の見開きに持続可能な社会の実現に向けてという、特設ページがある。 「もっと公民」と各ページで、SDGsが導入しやすい学習内容が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会についての内容が、第6章で多面的に取り上げられており、終章では探究課題として例示されている。 SDGsについても学習課題として取り上げられている。
B 使用 上の 便宜 について	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の法令集は学習内容と関わりのある法令が取り上げられている。 日本国憲法の用語の説明が理解しやすいように、工夫されている。 資料やイラストの配置が理解しやすいように工夫されている。 キャラクターが設定されており、探究課題の設定やまとめの活動などに取り組みやすい工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の法令集では、学習内容と関わりのある法令が選択されている。 日本国憲法では、難解な用語についての説明があり、生徒が主体的に学習を進められるように工夫されている。 図表・まとめ・写真などが関連するページの上や左右に適切に配置され、大きさや配色を含め見やすく工夫されている。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関連した記述が多く記載されている。 持続可能な社会について思考を深める内容が多く取り上げられている。 「地方自治と私たち」の中で、公共サービスとコンビニエンスストアについて考えようなどの身近なテーマが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の中で、地方議会・まちづくりなどをテーマとして扱い、それぞれの課題や解決策を考える活動を具体的に提示している。

教科名		【教科：社会（公民的分野）】	教科書調査報告（教科書調査委員会）
発行者名		帝国書院	日本文教出版
調査の観点			
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法における権利や自由についての内容や項目はコンパクトに整理されており、また、多様な立場の人の権利や自由にも配慮している。 ・現代的な課題や世界的な課題についての視点での内容記述や資料は豊富である。 ・民主主義の身近な政治として、地方自治の役割が重視され、関連のある内容や課題が記述されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題が明確にされ、「確認」で基礎的事項の定着を図ることができる。 ・本文と資料や写真のバランスが良い。 ・各編ごとに、学習内容と語句の整理があり、基礎・基本の確認がしやすくなっている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ公民」で、裁判員裁判・まちづくり・起業・難民支援など、多面的・多角的な視点をもった現代社会の課題を取り上げ、討論や発表の活動などが適切に提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学びのため「アクティビティ」というコーナーが設置されている。 ・学習の課題解決に向けて手がかりとなる「見方・考え方」が示され、理解を深める問いが設けられている。 ・「公民＋α」があり、生徒の興味や関心のあるテーマを取り上げ、理解を深める内容が取り上げられている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容や項目がコンパクトに整理され、適切に配置されている。 ・コラム欄の「公民のプラス」「未来に向けて」では、現代社会の課題について適切に提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な課題が随所に掲載され、生徒にとってビッグデータやマイクロプラスチックなど身近な新しい事例を学ぶことができる。 ・文章量と資料や図の量のバランスが良い。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会についての内容が、第4部第1章で多面的に取り上げられており、第2章では探究課題として例示されている。SDGsについても学習項目として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きに「『これからの社会をどんな社会にしたい』—国際社会の目標SDGs—」を明示している。 ・第5章「私たちの課題」として持続可能な社会を取り上げてテーマ学習ができるように工夫されている。
B 使用上の 便宜 について	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法では、難解な用語についての説明が掲載されている。 ・図表・まとめ・写真などが関連するページの上や左右に適切に配置され、大きさも見やすく工夫されている。 ・各部の最初で、イラストを使った視覚的な比較を用いて発見・探究・発表などの活動ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の法令集に日本国憲法の解説が掲載されている。 ・生徒が関心をもちやすい新しい事例や話題性のある事例が掲載されている。 ・マンガやイラストのキャラクターで興味・関心を引き出す工夫をしている。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ公民」（自分が住むまちのまちづくりを考えよう）で、具体的な項目について予算の観点からよりよいまちにする活動を分かりやすく提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「明日に向かって」のコーナーで、「こども未来会議室」の取り組みが取り上げられており、多摩市でも活用が可能である。

教科名		【教科:社会(公民的分野)】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		自由社	育鵬社
調査の観点		自由社	育鵬社
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法における権利や自由についての内容や項目はコンパクトに整理されている。 ・多様な立場の人の権利や自由にも配慮している。 ・現代的な課題や世界的な課題についての内容や記述、資料も掲載されている。 ・民主主義に基づく身近な政治として、地方自治の役割が重視され、関連のある内容や課題が記述されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードが章のはじめに提示されており、重要語句が明確になっている。 ・学習のまとめで基礎・基本を確認することができる。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブに深めよう」で、グローバル化やマスメディア、立憲主義など多面的・多角的な視点をもった現代社会の課題を取り上げている。 ・自分の考えをまとめたり、討論、発表する際に活用しやすい項目が提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章のはじめに「〇〇の入り口」で課題に取り組む姿勢や観点を示し、深い学びにつなげる工夫がされている。 ・「スキルアップ」のコーナーで技能を身に付けるよう工夫されている。 ・「やってみよう」で多面的・多角的な視点をもった現代社会の課題を取り上げ討論や発表の活動などが提示されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容や項目がコンパクトに整理され、適切に配置されている。 ・コラム欄の『もっと知りたい』では、現代社会にも関わる課題について多岐にわたって適切に提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の諸課題である国際情勢や安全保障問題などに関する写真や新聞記事を掲載している。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会についての内容が、終章で多面的に取り上げられている。 ・「課題の探求」では、持続可能な社会の実現を目指してのディベート、レポートや卒業論文の作成についても学習項目として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs・持続可能な社会の内容が、巻頭の見開きと第5章1節で取り上げられている。
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・難解な用語についての説明が同じページに設けられており、巻末を参照することなく、生徒が主体的に学習を進められるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の難解な用語についての説明が生徒が理解しやすいようにまとめられている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方公共団体の仕組みと課題」では地方自治と防災について「もっと知りたい」の項目で詳述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs・持続可能な社会の課題追究の項目が取り上げられている。 ・地方公共団体の政治の仕組みを関係図に示し、理解しやすい工夫がされている。